

第1回 苫小牧市総合計画市民懇話会 議事録要旨

- 【日 時】 平成29年1月19日（木）17:30～19:00
- 【場 所】 苫小牧市役所9階 議会大会議室
- 【出席者】 若林会長、橋本副会長、杉立委員、丹治委員、公地委員、北川委員、
小林委員、佐藤委員
- 【事務局】 苫小牧市 総合政策部 富田部長、政策推進室 町田室長、
政策推進課 小名課長、阿部課長補佐、川合主査

議 事 内 容

- 1 開会
- 2 委嘱状交付 市長から委嘱状交付
- 3 市長挨拶

●市長

現総合計画は、私が市長に就任した次の年から準備を始め、2008年にできています。平成29年で10年目を迎えます。その前までは、計画期間がロングスパンで設定されていました。しかし、時代を取り巻く状況環境等を考え、現計画では10年としました。

新総合計画は、取り巻く時代のドラスティックな変化、まちの状況の変化を考慮して、新しい考え方で位置付けていきたいと思えます。総合計画は、あらゆる市の計画の最上位の計画に位置付けられるもので、どうぞ忌憚の意見を出していただきたいと思えます。

もう一つは非常に残念なことです。苫小牧もすでに人口減少時代に入っています。減り方は、ほかのまちから見れば少ないとはいえ、3年連続して実質人口減少となっています。この人口減少時代の中で、初めて取り組む今回の総合計画となります。この視点でも多様なご意見をいただければと思えます。

どういう状況であれ、このまちの次代を担う若い人たち、子どもにとって住みよい、活気のあるまちを作っていくための基本的な考え方を示す計画となりますので、ぜひよろしくお願いを申し上げたいと思えます。

この懇話会でいただいたご意見は、できるだけ計画策定に反映していきたいと考えていますので、重ねてお願いを申し上げます。

- 4 委員紹介・事務局紹介 各委員・事務局職員の紹介
- 5 懇話会の概要について 事務局説明
- 6 会長・副会長選任 若林会長、橋本副会長を選出

●会長挨拶

ただいま、指名いただきました若林です。よろしくお願いします。

まず会議の資料を見てボリュームの多さに驚きましたが、皆様からの忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

市長のご挨拶にもありましたが、私も人口減少を心配しています。苫小牧だけではなく全道各地で人口減少が予測されています。苫小牧市の昨年12月の人口は、17万3,135人となっており、国の人口問題研究所では2040年には14万4,000人、2060年には11万3,000人まで減少すると推計されています。この人口減少をなんとか止めていながら、苫小牧が魅力あるまちになれば、他の市町村からも人口が流入してくるという視点も含めて考えていく必要があると思います。そのためには、現在、苫小牧が抱えている課題、問題等、皆様からご意見を十分伺いながら、少しでも新たな総合計画に反映されるよう、できるだけ皆様の多くのご意見、提案を出していける懇話会にしていきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

7 議事

(1) 新たな苫小牧市総合計画の策定作業に係る方針

<事務局より説明>

<質疑>

●委員

市のホームページに、総合計画の原案のとりまとめに関し、北海道二十一世紀総合研究所へ委託したように掲載されているが、どのようなことか。

●事務局

同社への委託の内容については、総合計画の策定に当たって、市民の意見の収集アンケート調査や基礎資料作成、技術的助言となっており、総合計画そのものを作成するというものではない。

(2) データ等から見る苫小牧市の現状について

<事務局より説明>

<質疑>

●委員

基礎データについてだが、平成 22 年が基本になっている。ごみに関しては平成 26 年が最新だが、昨年一般ごみリサイクル率が 30%を達成したという報道もあった。データが古いのではないか。昨年度総合戦略を策定して取り組んでおり、効果が上がってきているものもあると思う。今回無理かもしれないが、新しいデータが欲しい。

●事務局

まとめるにあたって、データを集められる範囲で集めているところはある。集められるデータで大きな流れを見ていただきたいとの趣旨で作っている。過去数年の流れを見て、総合計画を検討するに当たっての資料として欲しい。

平成 22 年とあるのは、国勢調査のデータである。その後、平成 27 年に国勢調査を実施しており、人口は公表されているが、就業率などの詳細データは、まだ公表されておらず、国勢調査をもとにしたものは、平成 22 年が最新データになっている。

●委員

まちづくりに関する意見・提案をしてほしいとのことだが、あまりにも漠然としていて、どのようなことを提案すればよいか。

●事務局

総合計画を策定するにあたって、細かな事業の内容よりも、例えば、雇用問題を積極的に取り組むべきといった大きな視点に立った意見が望まれる。

今回提示した資料をご覧いただいたうえで、こうした視点が必要ではないかや、日頃考えられているもの、自身の専門分野での課題など、忌憚なく書いて欲しい。

●会長

懇話会で議論する分野を絞った方が、意見を出しやすいのではないかと思う。市民意識調査の 14 ページの「これからのまちづくりや市政の課題」で回答が多いのは、「企業誘致、景気、雇用対策など、産業・労働分野の取り組み」「中心市街地の活性化など、まちの骨格づくりの推進」「高齢者、障がい者などの福祉分野の取り組み」「子育て環境整備、教育環境充実など未来や地域を支える人づくり」となっていて、それらにつ

いての市民要望が高いものと思う。

●委員

行政改革推進審議会や子ども・子育て審議会、廃棄物減量等推進審議会など、今後の苫小牧市を審議する審議会が他にもある。将来の都市をイメージするうえで、関係するような審議会の内容、市民の意識について、この懇話会で示せるものがあれば、その方が討論しやすいのではないか。

●事務局

必要に応じて、集められるものを収集して、お示ししたいと思う。

●委員

市民のためのまちづくりということで、アンケート結果から、多数を占める回答を選べばよいかと言えば、中にはそうとも限らないものもある。事業所調査に関しては、回収率が3割を切っており、この確実性がどうなのかとも思う。

あと2回の中で、いろいろな意見を出すのは限られると思うので、ポイントが重要である。できれば会議でどのような意見を出せばよいか事前にわかれば、考えを整理して会議に臨める。そのように進めてもらえればありがたい。

●事務局

2回目については、皆様から提出してもらい、まちづくりに関する意見・提案内容を、委員の皆様で共有したうえで、議論のポイントを提示し、議論できればと考えている。

8 その他

<事務局より次回の開催について説明>

9 閉会